

クローバー「咲きおり」で織る あじろ模様のシックなマフラー

～織り模様 その1 あじろ模様を織りましょう!!～



たて・よこ糸共通

A ヴィンテージネップ 61-213、61-215

B ヴィンテージネップ 61-212、61-214

【用具】

クローバー手織り機「咲きおり」40cm

【材料】

たて・よこ糸共通：

ヴィンテージネップ 2色 各2玉

【データ】

織り寸法：約19cm×140～150cm

整経長：200cm

ソウコウ：30羽ソウコウ

たて糸本数：56本

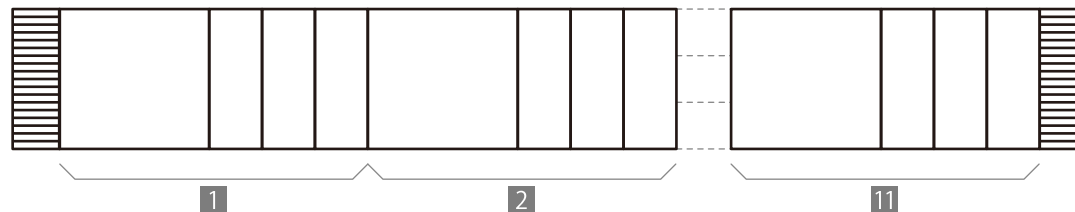
よこ糸密度：2～2.5段/cm

※整経長は織り機にかけるたて糸の長さ、
よこ糸密度は1cmを何段で織るとのこと

デザイン&テキスト/ゴトウミュキ

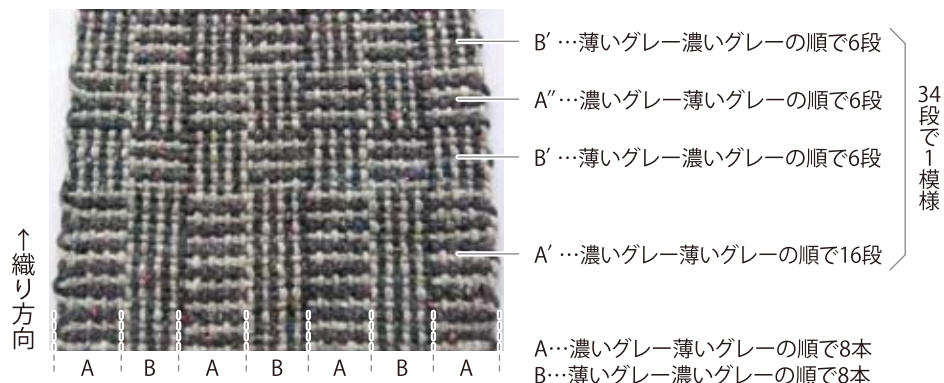
【織り図】

織り方向→



※34段で1模様 34段×11回

【たて糸・よこ糸】



【たて糸をかけるポイント!】

- ①2色の糸各1本ずつ2本いっしょにバックバーに結んでたて糸をかけます。
- ②Aの順番で8本、Bの順番で8本をABABABAとかけて計56本のたて糸を張ります。

【織るポイント!】

- ①シャトルを2本用意し、2色をそれぞれに巻いておきます。
(巻き過ぎるとたて糸を傷めます。)
- ②A' 16段▶B' 6段▶A'' 6段▶B' 6段で計34段が1模様になります。
11回繰り返して織り上げます。1模様の目安は約13cmです。
1模様毎に目印をつけて長さをチェックしながら織ります。
- ③2本のシャトルを使って交互に織るときは、たて糸の両端でよこ糸を絡めて織ります。両端のたて糸にきちんとよこ糸がひっかかるように2本のよこ糸を絡めます。
- ④あじろ模様などの織り柄は打ち込みを揃えることが大事です。織っている途中で、ときどき打ち込みのチェックをします。
揃った打ち込みの織り柄は美しいあじろ模様になります。

【仕上げ】

- ①房のしまつは4本1組の撚り合せです。
4本中の中2本を入れ替えると同色2本ずつになります。各色2本ずつで撚り合せをします。
- ②40℃の湯に洗剤を入れ織り地は押し洗いをし、房はていねいに擦り洗います。(縮絨)
- ③良くすすいで、脱水、陰干しし糸端をカットして房を10cmにします。
- ④アイロンで形を整えて完成です。

あじろ(網代)織り

日本家屋の天井張りなどでよく使われてきた柄です。たてよこ糸の色の順番をabab/baba/abab/baba…と変えてたて糸をかけたり、よこ糸を入れて織ることで整然とした美しい模様になります。
aa/bbと同じ色が続くところで柄が変わり、この境の線が格子を織り出します。色の差のある糸を選ぶと効果的です。